

目指せ金メダル！！夢キラオリンピック

—課題解決に向けた運動への取組—

尾道市立高須小学校

児童数 801人

TEL 0848-46-0003

実践内容

実施目的

本校では、昨年度の新体力テストで50m走、握力、長座体前屈、ボール投げ等の記録が県平均を大きく下回っていた。授業や休憩時間などに、楽しく運動することを通して、児童の体力向上を目指す。楽しく運動させるために、各取組に「夢キラオリンピック」や「クラスワールドカップ」等の名称をつけ、競争場面を仕組む。

また、動きのポイントを考え、伝え合う活動を取り入れれば、論理的に思考し、表現することのできる児童を育成できると考え、体力向上と共に思考・判断する力の向上を目指して取組を進める。

実施内容

1. 課題解決を意識した授業づくり

児童自らが課題を発見し運動ができる授業づくりを進めている。なかでも表現力の向上や運動のポイントを意識した言語環境づくりを行い、ペアやグループで相互交流の充実を図った。単元計画を工夫し、単元後半に大会等を設定した。

2. 夢キラパワーアップ体操

楽しく体力の向上や体づくり運動ができるように、音楽に合わせて行う体操を考案し、授業の開始時の準備体操として実施している。運動会では準備体操の一環として、午後の部のはじめに体操している。

3. 毎日の取組

新体力テストの結果から個々の課題を把握している。体育の時間以外にも、休憩時間に行う「1分間運動」や家庭学習として行う「体育の宿題」を通して、日ごろから運動する意識や習慣がつくように取組を進めている。

4. 外遊びの奨励（大縄大会）

外に出て遊びたいようなイベントを企画し実施した。大縄大会は、クラス単位で「3分間で跳んだ回数」で競った。各クラス目標を設定し休憩時間や放課後を中心に練習を行った。

5. 体育ファイルの活用

体育の生活化を目指し、新体力テストの記録や授業の学習シートなど、日々の活動の様子を体育ファイルに記録している。1年生から6年生までが同じファイルを持ち、6年間の積み上げをいつでも振り返れるようにしている。

実施上で工夫したこと

1. 目標の明確化で意欲を引き出す

新体力テストの得点を簡易化して提示し、昨年度の記録をもとに、児童一人一人に個別の目標を立てさせた。体力優秀賞やA判定など、より良い賞や判定をめざして、何をどれだけ頑張ればいいのか、具体的な数値として目標をもたせるようにした。

2. 職員研修で共通理解

正しい測定方法や運動のポイントなど、「新体力テストの実施方法並びに体力を高める運動及び取組例」を参考に、職員研修を通して共通理解を図った。また、学校としての目標も職員同士で共有した。

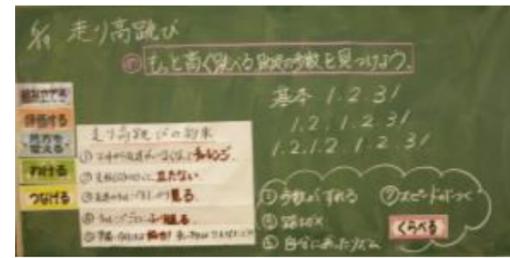
主な成果

1. 継続した体力づくりの習慣化

「1分間運動」や「体育の宿題」を継続して行ってきたことにより、運動する習慣が身に付き、家庭でも進んで運動する児童が増えてきている。

2. 児童の運動意欲の向上

来年度の新体力テストに向け、自ら課題を設定し、目標を掲げるなど運動に対する意欲が感じられた。
各単元の大会や大縄大会の実施により、運動が苦手な児童も学級の目標に向かって練習に参加し、自信をつけることができた。



課題解決を意識した授業づくり

児童自らが課題がもち、解決するための授業



夢キラパワーアップ体操

音楽に合わせて楽しく体操しながら体力アップ



毎日の取組

1分間運動の様子



大縄大会

クラスが一つの目標に向けて取り組む運動



体育ファイル

6年間の体育の成果を記録

20m シャトルラン		
点	男子	女子
10	80	64
9	69	54
8	57	44
7	45	35
6	33	26
5	23	19
4	15	14
3	10	10
2	8	8
1	7	7



目標の明確化

児童一人一人が目標を明確にもった取組

全校児童における総合評価A Bの割合 (%) の推移

